

令和5年度（2023）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 学校関係者評価委員会は、令和4年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

令和5年7月28日

学校法人穴吹学園
専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジの自己評価結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

松本 義人	医療法人社団 西高松脳外科・内科クリニック	理事長
藤井 保貴	一般社団法人 香川県理学療法士会	副会長
樋本 英司	一般社団法人 香川県作業療法士会	理事
田岡 知代	医療法人社団新進会 おさか脳神経外科病院	リハビリテーション室長
中川 真人	医療法人社団十仁会 介護老人保健施設 白寿の杜	リハビリ室長
宮滝 寛己	香川県立香川中央高等学校	校長
上杉 敬治	香川県立丸亀城西高等学校	校長
山地 茂之	学校法人穴吹学園保護者会 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ支部会	支部長
亀山 健太	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ同窓会	会長

(学校教職員)

横倉 益弘	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	校長
中内 英樹	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	副校長
植野 英一	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	教務部長

3. 学校関係者評価委員会の実施日時

開催日時 令和5年7月6日(木) 19:00～20:30

4. 委員長ならびに副委員長の選出

委員長に中川真人氏、副委員長には樋本英司氏が立候補。全員一致で下記の委員が委員長ならびに副委員長の承認を得た。

委員長 中川 真人氏 副委員長 樋本 英司氏

中川委員長の司会のもと、委員9名（うち1名（山地委員）はリモートでの参加）全員の出席があり、委員会の開催は成立であることを確認し、議事が進行された。

5. 自己評価結果の説明と報告（自己評価報告書参照）

香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式で作成した「令和4年度自己評価報告書」をもとに、「教育理念、目的」及び「令和4年度の目標と計画」について説明し、評価項目ごとの「評価結果（総括）」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」についても説明された。

また、各評価項目の自己評価結果と自己評価結果（総括）について説明され、総括評価が「A」評定であったことが報告した。

なお、各評価項目の評定方法は、「香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式」の4段階評価基準（「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である）に準じて実施されている。

6. 意見交換、質疑応答

「香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式」の評価項目に従い、「教育理念・目的・人材育成像」、「学校運営」、「教育活動」、「学修成果」、「学習支援」、「教育環境」、「学生募集と受入れ」、「財務」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」、「総括」と「自己評価結果（総括）」の順で意見交換をすすめ、各委員より下記の質問ならびに提案があった。

◇「教育活動」について

・授業改善のための取り組みにある学生に対するアンケートについて、実際どのような改善が求められているのか？

▶ 本アンケートは、教員別の授業評価アンケートであり、無記名のため様々な意見が出ている。例えば、「板書の字が読みづらい」、「説明が授業テーマから逸れる時がある」などの意見がある。アンケート結果に関しては、毎回教員へのフィードバックを実施し改善を促している。

◇「学修成果」について

・県内就職80%以上という数字について、これは県外出身の学生が地元に戻っていることによる数値を表しているのか？

▶ 県外出身者が地元就職するケースはあるが、卒業後香川県内に就職する学生もいる。この数値は、県内又は県外出身者を問わず、卒業生数に対する県内就職率を示している。

- ・卒業後のサポートとして、求人情報を共有して頂けることに感謝している。

◇「学習支援」について

- ・中途退学者について、人数的にどの時期の退学が多いのか？

- ▶ 1年次は前期定期試験の開始時が多い。また、3年次は実習期間中が多い状況である。

- ・高等学校における中途退学の状況についての情報を共有いただきたい。

- ▶ 学業不振による進路変更は少なく、メンタル面や交友関係でのトラブルによる進路変更が多い。

- ▶ 学期途中で通信制に変更となることもあるが、最近では中学から高等学校へ進学する際に通信制を選択する生徒が増えている。

- ・保護者との連絡についての現状は？ アプリ等のツールの使用はあるのか？

- ▶ 保護者会の開催や保護者との三者面談は随時実施している。学校生活の情報発信は、ホームページやインスタグラムを活用している。成績表等の学業に関することについては、基本的に郵送で行っている。

◇「財務」について

- ・（「⑦ 学生募集」とも重複するが）定員充足率の推移から定員数が適切かどうか、これまでの推移など聞かせください。

- ・3年で資格が取れるということは、国家試験合格率がどうなのかという意見が保護者から聞かれる。

- ▶ 定員充足率の低下は、高校生人口の減少が大きく関係していると共に、大学への進学を選択する割合が増えていると考えられる。

- ▶ 教育課程と共に、良い学習環境を整え充実させていく必要があり、それらを鑑み40名定員としている。学生の職業意識や習熟度を高め、国家試験の合格率100%を目指します。

委員の皆様から賜りました貴重なご意見を参考にさせていただき、理学療法士および作業療法士養成教育の場として、より良い学校作りを目指して教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上